

風通しのよい職場づくりを

～管理職コンプライアンス研修会～

11月8日、本店で管理職を対象としたコンプライアンス研修会を開き、管理職81人が参加した。

(株)日本マネジメント協会のマネジメントコンサルタント會田慶宏さんを講師に迎え、コンプライアンス違反の要因や不祥事が起きやすい企業風土など管理職の立場に必要なことを講義した。會田さんは「観察・声掛け・傾聴のコンプライアンスの3Kを心掛け、風通しのよい職場づくりに努めてほしい」と説明した。グループワークも行い、コンプライアンスで必要なことを話し合っ発表した。

研修した管理職は「管理職として常に部下とコミュニケーションを図り、モチベーションを高め合い、活力ある職場づくりに努めたい」と話した。

今後も年1回全職員を対象としたコンプライアンス研修と管理職を対象とした研修を行う。



さらなる意識向上を図る管理職

「津軽の桃」7000万円超え

～平成29年産桃精算報告会～

11月28日、平成29年産桃の精算報告会を本店で開き、生産者、市場関係者ら30人が出席した。

29年産は、生育期の干ばつにより小玉傾向となったが、生産量は年々増加しており、入庫数は上実で前年比118.9%の2万8105原箱（1箱約7キ））、加工で前年比113.8%の1866原箱（1箱約11キ））となり、販売金額は前年比108.5%の7270万円となったことを報告した。

津軽もも生産協議会の倉内信一会長は「ブランド化へ向けPR活動をしてきた。市場からの評価を参考にし、さらにブランド化へつなげてほしい」と呼び掛けた。市場は「津軽の桃」はおいしいので、消費者に伝えるよう販売努力をしていく」と話し、1玉でも多く生産量を上げてほしいと要望した。

今年は、「津軽の桃」ブランド研修会や収穫体験バスツアー、平川フェスタで即売会、多数のメディア取材などを通して「津軽の桃」の知名度向上を図ったが、30年産はさらに宣伝販売を積極的に展開していく。



精算を確認する生産者

洗濯のコツ学ぶ

～女性営農生活講座開講～

11月24日、本店で女性営農生活講座開講式と11月講座を開き、約60人が参加した。

開講式で大川重紀営農購買担当常務は「営農および生活に関する講座を用意しているので、体調に気を付けて出席してほしい」とあいさつ。

引き続き行われた11月講座では、ライオン(株)仙台オフィス八木創さんを講師に迎え、汚れをしっかりと落とす方法や部屋干しのコツなどエコな洗濯術を学んだ。

八木さんは「洗濯前後の作業が重要。洗う前に洗濯マークの確認や装飾などを確認する。汚れをしっかりと落とすため、洗剤が浸透しやすいように衣類は洗濯ネットに一枚ずつたんで入れて洗う。長い衣類を外側、短いものを内側にして風通しを良くすると早く乾きやすい」などコツを教えた。また洗剤成分である界面活性剤の効力の実験や新表示の洗濯マークについても知識を深めた。



洗剤成分を実験で説明する八木さん